



当社は、東通原子力発電所1号機の再稼働を目指し、原子力規制委員会による新規制基準適合性審査に適切に対応するとともに、所員一丸となって安全対策工事や設備の保守管理に取り組んでいます。

運転停止の状態が続く中、現在、発電所では、どのような業務を行っているのか、所員の日常をシリーズでご紹介します。

第2回目は、機械保守課の久保田 淳（おいらせ町出身）です。

プロフィール

機械保守課

久保田 淳（くぼた じゅん）

青森県上北郡おいらせ町出身。2018年入社。

東日本大震災で停電が発生したとき、現代の生活になくてはならない電気の復旧に全力を尽くす電力マンの姿を見て入社を決意。

趣味はカラオケとバスケットボール。特にバスケットボールは小学校から高校まで部活動に取り組む。



現在、どのような業務を担当していますか。

主に原子炉周辺の設備や各種弁のほか、原子炉建屋の空調設備の保守管理を担当しています。

今日は、どのような作業を行ったのですか。

定期的に行っているパトロールとして、各種機器の異音、異臭、振動ならびに液体物の漏えいなど設備に異常が無いかを確認しました。これまで得られた知見やデータをもとに、設備の故障などにつながる小さな予兆も見逃さず、事前に把握することが大切となります。

業務を進めるうえで心がけていること、注意していることなどを教えてください。

関係者間の認識の食い違いによって、事故やトラブルにつながるリスクが高まるため、たとえささいな事でも関係者で情報の共有を確実にを行うよう心がけています。また、各種設備の点検にあたっては、事前の計画や作業時間帯などの調整が非常に大切なことから、事前準備には特に細心の注意を払っています。

最後に、再稼働への思いや今後の抱負などについて教えてください。

再稼働に備え、万全の状態各種設備を維持できるよう努めてまいります。また、原子力設備や原子力業界に関わる情報について、国内のみならず海外からも収集できるよう英語などの語学系の資格取得を目指します。



見にくい場所はライトを使い丁寧に確認



指差呼称で計器をしっかりと確認

みなさまからのご意見・ご要望をお待ちしております

当発電所では、地域のみなさまからのご意見・ご要望をお伺いするため、専用メール窓口を開設しています。

右上のQRコードをスマートフォンなどで読み取り、「メールの作成」をタッチすると、メール宛先ならびに件名が自動でセットされます。

お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、今後の事業運営に生かしてまいります。

救命・応急手当講習を実施しました

5月27日、新入社員を対象に、救命・応急手当講習を実施しました。

この講習は、傷病者が発生した際、救命処置や応急手当を迅速に行うことができるよう、その手順を身につけることを目的として定期的の実施しています。

講習では、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法、毛布を活用した傷病者の搬送方法の手順を学んだ後、練習用の人形を使用し模擬訓練を行いました。

受講者は、「傷病者が発生した際は、今回学んだことを生かして迅速かつ適切な処置に努めたい」などの抱負を述べていました。

これからも非常時に備えた訓練や講習を継続し、所員の対応力の向上に努めてまいります。



心肺蘇生法を行いながらAED/パッドを正しい位置に貼りつける



毛布を活用して傷病者を搬送

トントウビレッジ からのお知らせ



「トントウの宇宙開発展」

開催日時：7月17日(土)～8月9日(月) 9時30分～16時30分

開催場所：トントウビレッジ

入 場：無料（密集・密接を避けるため入場制限を行う場合があります。）

内 容：・「国際宇宙ステーション実験棟きぼう」「H-IIAロケット」

「はやぶさ」などの縮尺模型展示

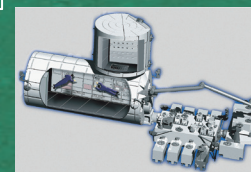
・宇宙開発パネル展示

・スペースバルーンフォトスポット

・なにが出るかな?ガチャポンチャレンジ（小学生以下対象）

・かさ袋ロケット工作キットプレゼント（小学生以下対象）

※開催期間中の土日祝日は工作コーナーを設置します。



実験棟きぼう
(イメージ写真)